

第8回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】令和2年7月4日(土) 午後3時00分～4時25分

【場 所】クリーンセンタープラスチック類資源化施設 2階 多目的室

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 1名 新井自治会 2名 落川上自治会 2名
百草園団地自治会 2名 百草園自治会 1名

事務局：日野市 7名（環境共生部長、クリーンセンター長、環境共生部参事、
ごみゼロ推進課長、施設課長、施設課主幹）

国分寺市 1名（建設環境部長）

小金井市 1名（環境部長）

浅川清流環境組合 4名（事務局長、事業課長、総務課長、総務課主幹）

【傍聴者】0名

【配付資料】

- ・次第 「第8回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料1 「プラスチック類資源化施設の運転状況について」
- ・資料2 「環境定点測定について」
- ・資料3 「可燃ごみ処理施設の運転状況について」
- ・資料4 「公害防止協定について」
- ・資料5 「古着・古布の焼却処分について」

【次 第】

（委員紹介、事務局紹介）

自治会役員に変更があり、また、事務局職員にも人事異動があったため、それぞれ自己紹介を行った。

1 開会

2 議事

(1) 日野市

①プラスチック類資源化施設の試運転状況について

＜説明内容＞

日野市から資料1に基づき説明を行った。

- ・プラスチック類資源化施設の1月から6月までの処理量は、プラごみは、8.6トン、11.6トン、11.9トン、13.5トン、15.2トン、12.7トン。
不燃ごみは3.2トン、8.1トン、7.9トン、10.6トン、11.7トン、12.1トンとなっている。
- ・不燃ごみについては、4月から6月までの搬入量は処理能力9.1トンに対して超えた数値になっているが、これはコロナの影響で在宅が増えたこと

により、ごみの搬出が増えたことによるが、適正に処理されている。

- ・プラごみ袋への不燃袋使用率の推移は、1月が50%、3月が27%、5月が16%、6月が15%となっている。

<質疑・応答>

(委員)：ごみの搬入量が増えたのは、コロナが要因か。

(日野市)：不燃ごみの搬入量は、対前年比で4月が104%、5月が90%、6月が101%となっており、コロナの影響があると思われる。

(委員)：コロナの影響でごみが増えているようだが、市として何か対策をとっているか。

(日野市)：ホームページや市報において、家で留め置いておけるごみのお願いをしているが、今後についてはほかの方法もさらに検討していく。

(委員)：運転従事者の体調管理等はどうなっているか。

(日野市)：体調管理に十分気を付けながら、運転を行っている。

(2) 浅川清流環境組合

○公害防止基準値の一時的な超過について

<説明内容>

浅川清流環境組合から追加資料「浅川清流環境組合の定める公害防止基準値の一時的な超過について」に基づき説明を行った。

- ・健康被害の状況については、当組合の定める公害防止基準は、学識経験者や地元の住民の皆さんの意見を踏まえて、国の基準より厳しいものとなっており、一時的には基準値は超えてしまったものの、2時間程度で基準の範囲内で収まっており、周辺地域に環境汚染や健康被害を生じることはなかった。
- ・今回の件による公表については、地元の住民の皆さん、組合ホームページ、報道機関等々に公表した。中には、公表が遅いとの意見もいただいた。今後は、公表する流れを含めて検討していく。
- ・可燃ごみへの有害物の混入防止の徹底については、水銀が混入しないよう、構成市の3市にはより一層のゴミ出しの注意喚起をお願いしている。

①環境定点測定について

<説明内容>

浅川清流環境組合から資料2に基づき説明を行った。

- ・7/2(木)に測定。
- ・測定の結果、各測定地点における数値はおおむね同程度。
- ・この結果より、専門業者の考察では、周辺への著しい環境影響は及ぼしていないとのこと。
- ・上落川公園の測定結果は、これまでも測定している落川交流センターの結果とは、ほぼ同程度であり、データを一本化させても問題ない旨、考察

されている。

- ・次回のクリーンセンター連絡協議会で今回の測定データの分析結果と合わせて詳しく説明予定。

<質疑・応答>

(委 員) : 水銀の混入とあるが、具体的に何が混入されていたのか。

(組 合) : 具体的に何がというのはわかっていないが、体温計や血圧計、ボタン電池等の混入が考えられる。

(委 員) : 水銀体温計 7 本分に相当する量が排出されたということで、実際に入っていたものは、不明とのことか。

(組 合) : そのとおり。

(委 員) : 今回の水銀の件を発表するまでが遅かったと思われるが遅かった理由と、どの時点で公表することとしたのか。

(組 合) : 今回の発表までに時間がかかった理由は、今回の水銀の件で施設を停止するまでには至らなかったが、基準値を超過したという事実をお知らせする上で公表することとした。今後は、発表方法も含めてどのような方法がよいのか検討していく。

なお、今回の件で、構成市である 3 市には今回のようなことがあると施設の停止になりかねないので、水銀が含有する有害ごみの排出について十分気を付けていただくよう要請したところである。

(委 員) : 今回の件で 3 市がどのような対応したのか次回までに報告してほしい。

(日野市) : 現時点での対応としては、6/30 に 3 市で集まり、今後の対応を話し合った。市民に対しては、ごみ情報誌やホームページで啓発し、事業者に対しては、再発防止を 6/26 付で通知した。今後は、コロナの影響で中止となっている抜打ち検査を実施方法含めて検討していく。

(委 員) : 日野市からの報告があったので、国分寺市、小金井市からの報告も願います。

(国分寺市) : 日野市同様、事業者に対しては、再発防止を 6/26 付で通知し、市民に対しては、ルール違反のごみに対してシールを貼って対応する等を行っており、今後もさらなる周知徹底を行っていくうえで対応を検討していく。

(小金井市) : 事業者や市民に対する日野市、国分寺市の対応のほかに市役所内でも事業者にかかわる経済課や学校関係にも周知徹底を行った。

(委 員) : 周知した事業者とは収集事業者だけではなく、病院とかの事業者のことか。

(日野市) : おっしゃるとおり、ごみを排出する事業者のことである。

(委 員) : 次回の協議会でも対応経過を検証も含めて教えていただきたい。

②可燃ごみ処理施設の運転状況について

<説明内容>

浅川清流環境組合から資料3に基づき説明を行った。

- ・資料3－1の1ページ目は運転の計画、実績報告、排ガス、排水、悪臭の状況です。騒音に関しては、11月が測定月となる。測定結果は、すべて基準を下回っていた。
- ・裏面（2ページ）は、3市のごみの搬入状況及び焼却灰等の搬出状況。
- ・3ページでは、ごみ処理量、排ガスの温度、冷却設備、排ガス処理設備の清掃状況。
- ・4ページでは、排ガスの測定結果。
- ・5ページでは、主灰、飛灰、排ガス、地下コンベヤ周りの放射能の測定結果。結果はすべて問題なし。

<質疑・応答>

（委員）：資料3－1の排ガス測定の水銀の項目で測定値が多い月と少ない月があるが、大なり小なり排出されているということでしょうか。

（組合）：そのとおり。

（委員）：放射性物質の出どころはどこなのか。

（組合）：自然界にも微量に含まれているので、焼却によって灰から検出されているのではいか。

（委員）：今回だけの結果では、判断が難しいので、しばらく数字の経過を見守っていく。

（組合）：定期的に測定し、数字の推移を公表していく。

③ 公害防止協定について

<説明内容>

浅川清流環境組合から資料4に基づき説明を行った。

- ・公害防止協定を地元5自治会と締結したいと考えている。
- ・基本的な考え方としては、環境保全基準をベースに体裁を整え、①市民要望処理、②災害廃棄物の受入れ、③専門委員会の設置や各種報告などを明記する。
- ・スケジュールとしては、本日のクリーンセンター連絡協議会で提案、9月ごろまでに案文を各自治会に提案、自治会内でご検討いただき、やり取りを行い、冬頃に各自治会に最終案を提示する予定で進めたい。

次回、令和3年2月のクリーンセンター連絡協議会閉会後に、双方で最終確認ができれば、3月に各自治会総会で可決次第、事務手続きへ移行できればと考えている。

- ・もうひとつの提案として、専門委員会を立ち上げ、今後の可燃ごみ処理施設の稼働におけることなどで専門家の見解や助言を得た内容について、ク

リーンセンター連絡協議会で報告するようにしたらどうかと考えており、公害防止協定の中に盛り込んでいきたいと考えている。

<質疑・応答>

(委 員)：専門委員会の話が出たが、委員は何人ぐらいでどこの場所で行うか公表はするのかなど概要を教えてほしい。

(組 合)：委員は、学識経験者4人程度、浅川清流環境組合に設置。年2回開催を予定。会議は公開。専門家としての意見をいただき、ホームページで公開するし、クリーンセンター連絡協議会に報告する。

(委 員)：以前から要望はあったのに、公害防止協定をなぜこのタイミングで結ぼうと考えたのか。

(組 合)：将来的に公害防止協定の締結も見据えて、学識経験者を入れて環境保全基準を作成した。令和2年2月の市民説明会において公害防止協定を結ぶ要望があり、協定を結ぶ方針となった。

(委 員)：協定を結ぶことはよいと思われるが、遅いと言われるのは間違いないと思う。

(日野市)：以前から公害防止協定を結ぶべきとの声もあったし、周辺地元5自治会がクリーンセンター連絡協議会に参加し、ある程度協定を結ぶ条件が整ったということでこの時期になったが協定締結を進めたい。

(委 員)：自治会によっては協定を結びたくないという意見もあると思うが、どのような形で結ぶことを考えているのか。

(日野市)：今後調整したいと考えているが、5自治会連名で結びたいと考えている。

(組 合)：まずは、案文を作成し、提示したいと思う。

3 その他

① 古着・古布の焼却処分について

<説明内容>

日野市から資料5に基づき説明を行った。

- ・資源化施設に引き渡し、資源化施設で選別した後の汚れたもの、リサイクルできないものなどを中心に返還。
- ・資源化引き渡し量の30%が資源化できないごみなどの混入となっていることから、30%を上限に焼却処理を行う。
- ・6月の焼却処分状況は25,850 kg。
- ・海外諸国における輸入制限などの原状回復が見込めないことから、6月分の返却も継続となる見込み。

<質疑・応答>

なし

② その他

<質疑・応答>

(委 員) : 30 年後の次期施設建設に向けての検討状況はどうなっているか。

(国分寺市) : 4 月に本格稼働を迎え、速やかに構成市で協議を進めるはずだったが、コロナの関係で集まって協議を進めることはできていない。今後は集まらなくても協議を進めることができるような方法も考え、進めていきたい。

(日野市) : 30 年後については、3 市で検討をという意見もいただいているし、ロードマップをなるべく早く作成し、早期に公表できるようにお願いし、協議を進めていきたいと考えている。

(委 員) : ウェブ会議なども利用してぜひ、話し合いを再開して協議を進めていただきたい。

(委 員) : 新石自治会でも 30 年後の話はしている。話が進まないことを危惧するので、日野市の石田地区以外で検討するようお願いする。

<事務局より連絡>

・ 次回の開催は、令和 3 年 2 月を予定している。詳細は、追って連絡する。

4 閉会

以上